JA 岡山西の台湾青果物プロモーション（7/21 8:30～15:00）

出席者　別紙の通り

(1) 市場視察

◎上佳水果有限公司

・台湾のシャインマスカットのニーズはまだまだある。時期は中秋節が１番
・ポイントは粒の大きさ。次いで房の少ない箱(房の大きいもの)。
　これらを、各店がオリジナルの箱に入れてギフトにする。
・長野のシャインは粒が大きくないが、露地ものは入荷が遅く他の産地がないので重宝している。味も安定している。
・岡山産の晴王は粒が大きく、指定する人も多いが、ものによって味が違うとの指摘もある。ブランド名として名が通りつつある。課題として、いつまで遅く出荷出来るかがカギ。10 月以降の晴王が欲しい。
・アレキは、味が台湾好みでない。量もないので浸透しないだろう。

◎上欣水果有限公司

・ブドウは粒の大きさが最優先。
・台湾でのブドウは巨峰。年２作だからか粒が大きくならない。
・晴王を含め日本のシャインには粒の大きさを期待している。
・早いもの(６月)はニーズないこともないが、高すぎて買えない。
・愛媛のみかんはお菓子を含め年中ある。台湾にはない種類なので人気がある。

(2) 果物専門店視察（梅林水果）

・台北市内の果物専門店を訪問。販売されている状況を見学。
・船穂のシャインマスカット化粧箱も奥のショーケースに展示してあった。

・お店の人に頼んで生産者番号を確認させてもらった。（桃は和歌山産）

岡山産ピオーネ　１房　　1400NTD（≒4900 円）

岡山産シャインマスカット(晴王)　１房　2000NTD（≒7000 円）

１房化粧箱　3200NTD（≒11200 円）

(3)**微風南山店でのトップセールス**

◎樹山経理との会談

・微風南山店は出来たばかりであり、ギフトの固定客はまだ少ない。いいものを販売しギフト顧客を増やしていきたい。

・こちらにも入荷実績のある倉敷市船穂の生産者。

・高品質である伝統を引き継いで、後継者も育っており、産地としてまだまだ元気である。

・県の事業を活用して、ニューファーマーも受け入れて、伝統を引き継いでいくことにも取り組んでいる。

◎店頭での試食ＰＲ

・生産者３名による、シャインマスカットの試食ＰＲ。

・声をかけ始めると試食に多くの人が集まり、10 分ほどで終了した。

※生産者の反応

・すごく高い価格で売られていて、びっくりした。この値段で売れるのかと思うが買われていると聞き、驚くばかりだ。

・岡山産がトップブランドとして認められつつあると実感でき、大きい粒のいいものを送ろうという励みにもなった。

・台湾ははじめてだったが、発展しつつあると実感した。